

無料公衆無線 LAN (W i - F i) 環境の整備促進を求める意見書の提出について

無料公衆無線 LAN (W i - F i) 環境の整備促進を求める意見書を次のとおり提出する。

平成 2 9 年 3 月 2 4 日提出

提出者 市会議員 井上 与一郎 ほか 4 1 名
(自 民 党 市 議 団 , 公 明 党 市 議 団 ,
日 本 維 新 の 会 市 議 団 , 京 都 党 市 議 団 ,
無 所 属 (大 前) , 無 所 属 (豊 田) , 無 所 属 (や ま ざ け))

平成 年 月 日

衆議院議長, 参議院議長, 内閣総理大臣,
総務大臣 宛て

京 都 市 会 議 長 名

無料公衆無線 LAN (W i - F i) 環境の整備促進を求める意見書

2 0 2 0 年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて, 通信環境の整備, とりわけ無料公衆無線 LAN (W i - F i) 環境の整備が, 喫緊の課題となっている。

観光庁が行った「平成 2 6 年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査結果」によると, 旅行中最も困ったこととして, W i - F i 環境が 3 0 . 2 パーセントと最も高く, 特に公共施設や観光施設における W i - F i 環境の普及や利用手続の簡便性の面での課題が指摘されている。

政府は, 防災の観点から, 2 0 2 0 年までに約 3 万箇所の W i - F i 環境の整備を目指し, また, 空港や駅・鉄道, 宿泊施設など, 人が多く出入りする場所には, 民間での設置を働き掛けている。

京都市においては, 安全性と利便性を兼ね備えた W i - F i の仕組みによって, 市バス停, 地下鉄駅, 公共施設, 商業施設など, 約 2 , 0 0 0 箇所において利用することができる環境を, 独自に整備してきている。

W i - F i 環境の整備促進は, インバウンドの更なる増加だけでなく, 防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献する。

よって国におかれては, 下記の事項について取り組むことを強く要望する。

記

- 1 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対して, 安全性と利便性を備えた W i - F i 整備支援事業を拡充すること。
- 2 防災の観点から, 避難所・避難場所となる学校等の防災拠点や, 博物館・自然公園等の公共的な観光・防災拠点への W i - F i 環境の整備に対して, 財政支援措置を拡充すること。

以上, 地方自治法第 9 9 条の規定により意見書を提出する。